



# 年末年始のごみ出し ～家庭でできるエコアイデア～

年末年始は、大掃除やお正月準備で、1年のうちでも特にごみが多くなる時期です。

しかし、分別が不十分なまま出されたり、収集日を守らずにごみを出してしまうと、カラスの被害や景観の悪化、資源の再利用機会の損失につながります。

## 家庭で取り組める年末年始エコアイデア

### ①「食べきり・使いきり」で食品ロスゼロ 目標12「つくる責任、つかう責任」

年末年始はごちそうが多い時期。

買う前に冷蔵庫をチェックし、「使いきるリスト」を作って計画的に買い物を。

余った食材はリメイク料理（お雑煮→カレー、黒豆→スイーツなど）でおいしく再利用。

12 つくる責任  
つかう責任



### ②「リユース(再利用)な大掃除」 目標11「住み続けられるまちづくりを」

まだ使える服や本、雑貨は捨てずに「譲る・リユース」へ。

友人や知り合いに譲ったり、地域のリユースボックスに出すだけで、資源が生き返ります。

11 住み続けられる  
まちづくりを



### ③「お掃除の洗剤も自然にやさしく」 目標14「海の豊かさを守ろう」

重曹やクエン酸など、自然由来の掃除用品を使うことで、排水から出る化学物質を減らし、サンゴや海への負担を軽く。

14 海の豊かさ  
を守ろう



### ④「包装紙・段ボールは資源に戻そう」 目標15「陸の豊かさを守ろう」

贈り物の包装紙や通販の箱は、しっかり分別すれば紙資源として再利用可能。

15 陸の豊かさ  
を守ろう



### ⑤「ごみを減らす買い方」 目標13「気候変動に具体的な対策を」

- ・まとめ買いより“使い切りサイズ”を選ぶ
- ・詰め替えパックを活用
- ・マイバッグ、マイボトルを年末年始のお出かけにも忘れずに

13 気候変動に  
具体的な対策を



### ⑥「生ごみは乾かして軽く」 目標12「つくる責任、つかう責任」

水分をしぼるだけで、ごみの重さも臭いも減少。

乾燥させて堆肥化すれば、家庭菜園にも使える“ごみゼロサイクル”に。

12 つくる責任  
つかう責任



年末年始は、ごみが増えやすい季節。でも家庭のちょっとした工夫で、恩納村の自然も未来も守れます。「食べきる」「使い切る」「分けて出す」その一歩が、SDGsにもつながります。家族みんなで、きれいな恩納村の新年を迎えましょう。

【年末年始のごみ収集について】(村民課 ☎966-1205)

年末最終収集日：12月31日(水) 年始収集開始日：1月4日(日)

ごみの正しい分け方・出し方▶



SDGsについてのお問い合わせ：企画課 ☎966-1201